

神戸教区・西日本豪雨被災者支援室より第1信

2018年7月27日

主の御名を賛美いたします。

この度の西日本豪雨に際しては、災害直後より各地からお見舞いや励ましの言葉、また尊い支援の献金、そして多くのお祈りをいただきましたことを心より感謝申し上げます。

災害発生から既に4週間が経ち、情報発信が遅くなりましたことお詫び申し上げます。ここに経過報告と、支援協力のお願いについてお知らせいたします。

被災地の状況については、既に多くの報道でご存知のことと存じます。7月5日（木）から8日（日）にかけての集中豪雨により、九州、中国、四国、近畿地方と広範囲にわたって甚大な被害が生じました。気象庁では平成30年7月豪雨と命名していますが、一般には西日本豪雨と呼ばれています。平成になってから最大の豪雨災害と言われ、犠牲者は220人を超え、尚も行方不明の方々がおられます。また洪水や土砂災害により家や財産、田畑などを失われた方々、そして道路やライフラインの破損によって、この猛暑の中を大変困難な生活を強いられている多くの方々がおられます。

支援活動に関する神戸教区の取り組みとしては、7月9日（月）西日本豪雨被災者支援室が立ち上げられました。まずは神戸教区の被災状況の把握と確認にあたりましたが、教会・関係施設に大きな被害はありませんでした。しかしながら信徒については、広島県では2世帯の方々が床上浸水、また愛媛県では数世帯、床下浸水の被害に遭われた方々がおられます。また広島県呉市などでは道路の寸断や断水により、被災後かなりの期間、水や食料・日用品の確保が困難な信徒の方々がおられました。

さらに全国の聖公会信徒・教役者の方々の親族・関係者でこの地域にお住いの方々の中には、この豪雨被害に遭われている方がおられるかもしれません。しかし当教区ではそうした方々の把握はできておりません。

災害発生直後から、広島県では現地牧師や教役者により、ほぼ連日、被災信徒の住居を中心にその近隣の泥かき作業、また呉市などの断水地域への水や日用品の運搬などの活動が行われ、そこに神戸や他の地域から教役者が応援に参っております。また岡山県倉敷市では被災信徒はおられませんでした。大規模な浸水に見舞われた真備町に現地の牧師たちが社会福祉協議会などを通じたボランティア活動を開始しており、現在では被災者支援室メンバーが連日、救援活動に入っています。

7月10日（火）に神戸教区の被災者支援室フェイスブックを作成し、まずはこうした情報を日々発信しております。

7月17日（火）に倉敷聖クリストファー教会（倉敷伝道所）において、第1回西日本豪雨被災者支援室会議が開かれ、主に以下のことが決められました。

1. 支援室は小林尚明教区主教により教区事務所に立てられ、構成は、室長：小南 晃司祭、社会部長（災害救援担当）：瀬山会治司祭、上原信幸司祭、平野一郎司祭、長田吉史司祭、林 和広司祭、浪花朋久司祭、教区主事：大東正人氏とする。
2. この度の被災は神戸教区内で広島県、岡山県、愛媛県、その他の地域にも広がっているが、当教区の人材や資源を考え、被災者支援活動は広島市と倉敷市に絞るということ。
3. 支援活動の方法は広島市と倉敷市の教会・伝道所にボランティアセンターを設けて、ボランティアの為に宿泊と食事を提供し、ボランティア活動は原則として社会福祉協議会を通して行って行くこと。
4. ボランティアセンター設置期間は8月1日（水）～31日（金）までとすること。
5. ボランティアセンターの活動資金は教区災害等緊急支援資金と西日本豪雨被災者支援室の活動のための募金を充てること。

以上を踏まえて、次のような活動を行って参りますので、よろしくお願いします。

1. 広島聖モニカ礼拝堂と倉敷聖クリストファー教会にボランティアセンターを設置します。7月31日（火）に開所礼拝を行い。8月1日（水）から8月31日（金）まで活動します。（土・日は休み。但し宿泊は可）どうぞボランティアに応募ください。詳細はボランティア募集要項及びボランティア登録票をご覧ください。
2. 神戸教区西日本豪雨被災者支援室の活動のための募金をお願いします。郵便振替を利用される方は「被災者支援室のため」と明記の上、下記宛ご送金願います。

郵便振替 口座 01100-9-17568 日本聖公会神戸教区

（ ゆうちょ銀行 一一九店 当座 0017568 ）

尚、神戸教区としては、「被災者のための募金」は募りません。被災者の方々にお渡しして行く道筋がないためです。被災者のための募金や義援金については、他のキリスト教団体また一般の募金にお献げください。

3. 西日本豪雨被災者のためのお祈りをお献げください。すでに教会でも個人でもそのためのお祈りが献げられていることと思いますが、神戸教区ではこれから次のようなお祈りを献げて参ります。もし皆様も礼拝などでこのお祈りを用いて頂けますなら感謝です。

西日本豪雨被災者のための祈り

いつくしみ深い神よ、西日本豪雨によって、亡くなられた人々に永遠の安らぎをお与えください。

大切な家族や友人、また家や財産をなくした人たちがおられます。どうかあなたが、悲しみと苦しみのうちにある人たちに愛と慰めを注ぎ、これらの悲劇、困難を乗り越える勇気と力、その必要なものをお与えください。

この災害に対して、多くの人たちが自分たちの時間と労力を献げて奉仕の働きをしています。どうか彼らの働きを祝し、また神戸教区の西日本豪雨被災者支援の働きも祝し用いて、すべての被災者が一日も早く平穏な生活に戻れますように。

主イエス・キリストによってお願いします。 アーメン

最後に、この度の神戸教区の被災者支援の動きが微々たるものに過ぎず、歯がゆく思われるかも知れませんが、しかし現時点で当教区として出来る精一杯のことでもあります。

しかし同時にこの災害に苦しむ多くの人々に対して主イエス・キリストご自身が為さろうとしている業に、丁度、5000人を前にして「5つのパンと2匹の魚」を献げた少年のように。小さな形からでも参与出来たらと願うものです。

この度の西日本豪雨による犠牲者の魂の平安と、被災者の方々への主の慰め、励まし、祈りつつ、現在までの神戸教区西日本被災者支援室の経過報告と、皆様への今後のお願いをさせて頂く次第です。

神戸教区主教 オーガスチン 小林 尚明
神戸教区 西日本豪雨被災者支援室
室長 司祭 ミカエル 小南 晃